

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	7週	6週	第7週		第6週		第7週		第6週		第7週		第6週		第7週		第5週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	592	788	135	213	163	238	99	67	122	164	24	125	12	32	12	21	29	42
咽頭結膜熱	14	30	1	7	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	151	180	18	0	22	0	13	0	14	0	0	0	0	0	5	0	8	0
感染性胃腸炎	199	240	36	31	47	20	36	9	42	6	0	13	0	7	0	9	5	7
水痘	21	21	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	2	6	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	56	36	10	1	5	1	9	0	5	0	0	0	0	1	1	1	0	0
突発性発疹	24	30	4	0	4	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ヘルパンギーナ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	20	19	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
流行性角結膜炎	6	10	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

県中地域の状況

- 流行中 現在、インフルエンザ・伝染性紅斑の流行が続いています。
- 小流行中 現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎の小流行が続いています。

感染性胃腸炎について

ノロウイルスによる胃腸炎は、冬季に流行し、腹痛、嘔吐、下痢、発熱などの症状がみられます。ノロウイルスは非常に感染力が強く100個以下の少量のウイルスでも、人に感染し発病します。逆性石けんやアルコールでの消毒効果は十分ではなく、85℃で1分間以上の加熱、または次亜鉛素酸ナトリウムによる消毒が有効です。主な感染経路は、接触感染や経口感染です。排便後や食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。また、加熱が必要な食品は中心部まで、しっかり加熱しましょう。



インフルエンザについて

第7週の県内の1定点あたりの患者報告は7.13人で前週より減少しました。これまでの迅速診断キットによる検査ではA型が98%を占めています。インフルエンザは高熱や関節痛等の全身の症状が出現します。併せて、普通の風邪と同様、鼻汁、咳等の症状もみられます。乳幼児は脳症を、高齢者は肺炎を伴うなど、重症化する恐れがありますので、早期受診を心掛けてください。

